

# 令和元年度第1回 千葉市地域公共交通会議

---

令和元年7月30日(火)  
議会棟3階 第2説明員控室



# 次 第

- 1 挨拶
- 2 若葉区泉地域コミュニティバスについて
- 3 議事
  - 1) 【議決事項】 若葉区泉地域コミュニティバスに係る運賃改定について
  - 2) 【報告事項】 若葉区泉地域コミュニティバスの運行計画の変更について
  - 3) その他

# 若葉区泉地域コミュニティバスについて

---



# 若葉区泉地域コミュニティバスの概要

名称	さらしなバス	おまごバス	いずみバス
運行開始日	平成10年10月30日	平成17年9月1日	平成20年3月1日
運行開始に至る経緯	交通不便地域における日常の市民生活の足の確保を目的として運行	民間バス路線の退出を受け、廃止代替路線として運行	民間バス路線の退出を受け、廃止代替路線として運行
路線最長運行距離	約24km	約25km	約26km
停留所数	51箇所	50箇所	51箇所
運行本数	12便	18便	15便
H30年間利用者 (1日あたり)	24,228人 (66.6人)	52,357人 (143.8人)	44,854人 (123.2人)
料金	一律200円(中学生以下100円) 一日乗車券500円(中学生以下250円)		
車両(乗車定員)	ノンステップバス(31、32人)		
H31委託金額	38,570千円(消費税等込)		

# コミュニティバスの運行形態

地域が日常生活の移動の確保のため、自らコミュニティバス等を導入するスタイル  
地域が当事者意識を持ち、効率的・利便性を確保する。(運賃、ルートなど交通事業者から助言を得ながら作成)

高齢者等の多い地域における  
日常生活の移動の確保

地域住民が主役となる  
地域や市民による手づくり  
コミュニティバス



運営協議会の様子



ギャラリーバス

運行は地域・行政(市)・  
交通事業者の3者で協力

市は地域の努力をサポート  
市負担(運行助成金)

地域住民

地域は最大限努力  
(明確な乗車目標)  
地域負担(運賃・路線等検討)

バス・タクシーの運行  
専門的観点からの助言  
(運行計画・各種手続き)



市

交通事業者

地域住民が主体となり運行協議会を設置

# 若葉区泉地域コミュニティバス運行協議会について

## ○構成員

運行ルート沿いの主な自治会等

バス事業者：千葉中央バス株式会社

千葉市：若葉区地域振興課、交通政策課

## ○オブザーバー

千葉県、八街市

# 運行協議会等での検討経緯

○平成30年6月

乗降調査やアンケート結果より、現状と課題点を議論  
以後、関係する連協会の  
場を通じて地元調整

CBのことを知らなかつたり、  
路線が複雑でわかりづら  
かつたりいろいろあるな…



○平成30年9月

利便性向上のための対応策の検討

○平成30年12月

【協議会決定事項】

・収支目標60%とする

努力目標を定めて  
利用者を増やしていこう！



○令和元年5月

運行委託費の上昇により、収支改善策を維持  
するため、運賃値上げについて議論

# 運行協議会での検討経緯

○平成30年6月

乗降調査やアンケート結果より、現状と課題点を議論

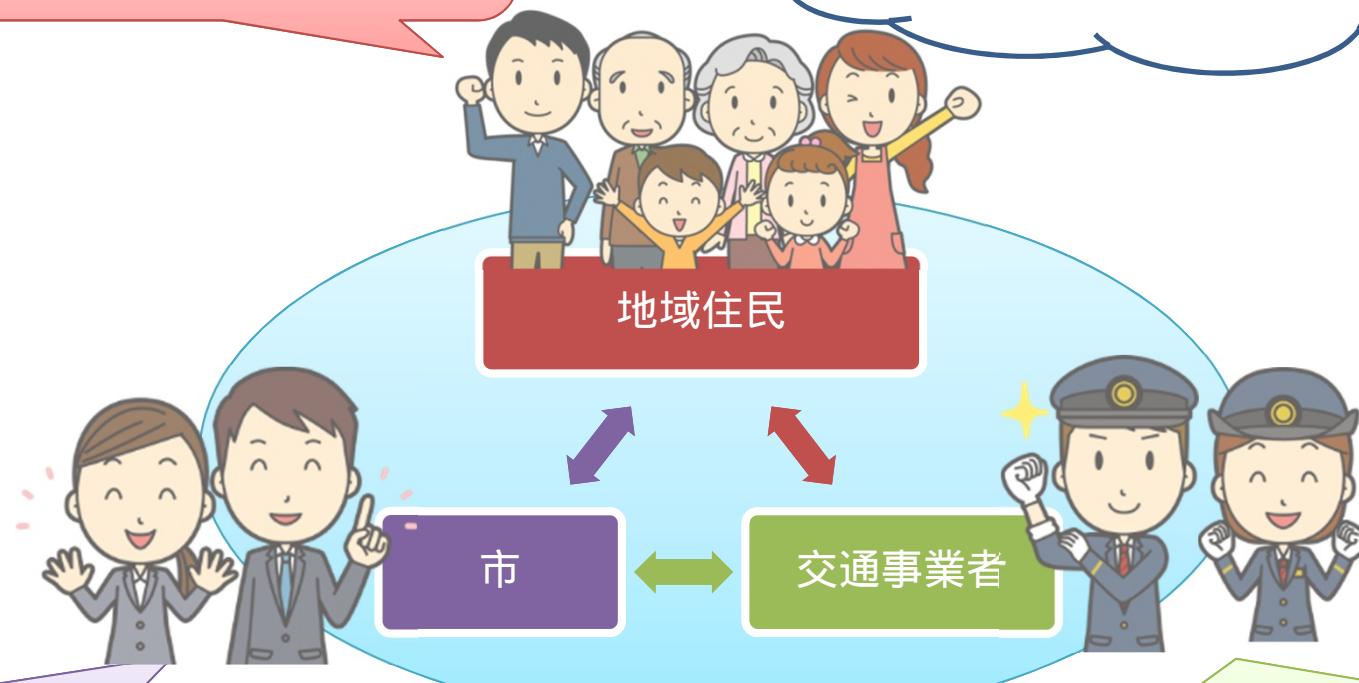
- バス停留所毎の乗降者数に差が多い  
→ルート変更を検討するにも難あり
- おまごバスについては八街市からの乗降者が多く、  
地域のとて重要な路線ということが判明  
→地域間幹線補助金獲得に向け具体的な検討着手
- 収支改善を図るため、乗降客数の増加検討や、運賃  
改定についてシミュレーション結果を提示

連協会の場などを通じ、個別に地元調整を行う

# 収支改善のためのそれぞれの役割

地域は最大限努力  
(利用促進や収支改善目標)  
地域負担(運賃・路線等検討)

実際に  
何ができるだろう?



- ・地域の努力を最大限サポート
- ・市補助金負担
- ・**国県の地域間幹線系統補助金の獲得(関係機関との調整)**
- ・総合評価落札方式の採用

- ・専門的観点からの助言
- ・**回数券等利用促進のための新サービスの導入**
- ・**新しい車両の導入**

# 運行協議会での検討経緯

○平成30年9月

## 利便性向上のための対応策の検討

- ・アンケート結果を反映し、モノレールと連携し  
最終バス便の追加等運行ダイヤへの見直し
- ・バス停留所の新設や位置の見直し
- ・チラシやパンフレット配布等を通じての利用促進に努めること等を確認

# 運行協議会での検討経緯

○平成30年12月

次年度からの運行、収支目標について議論

- ・**収支目標60%**
- ・利便性向上のため、次年度10月からダイヤ改正等を実施

「段階的な運賃値上げもやむなし」との意見もあった。

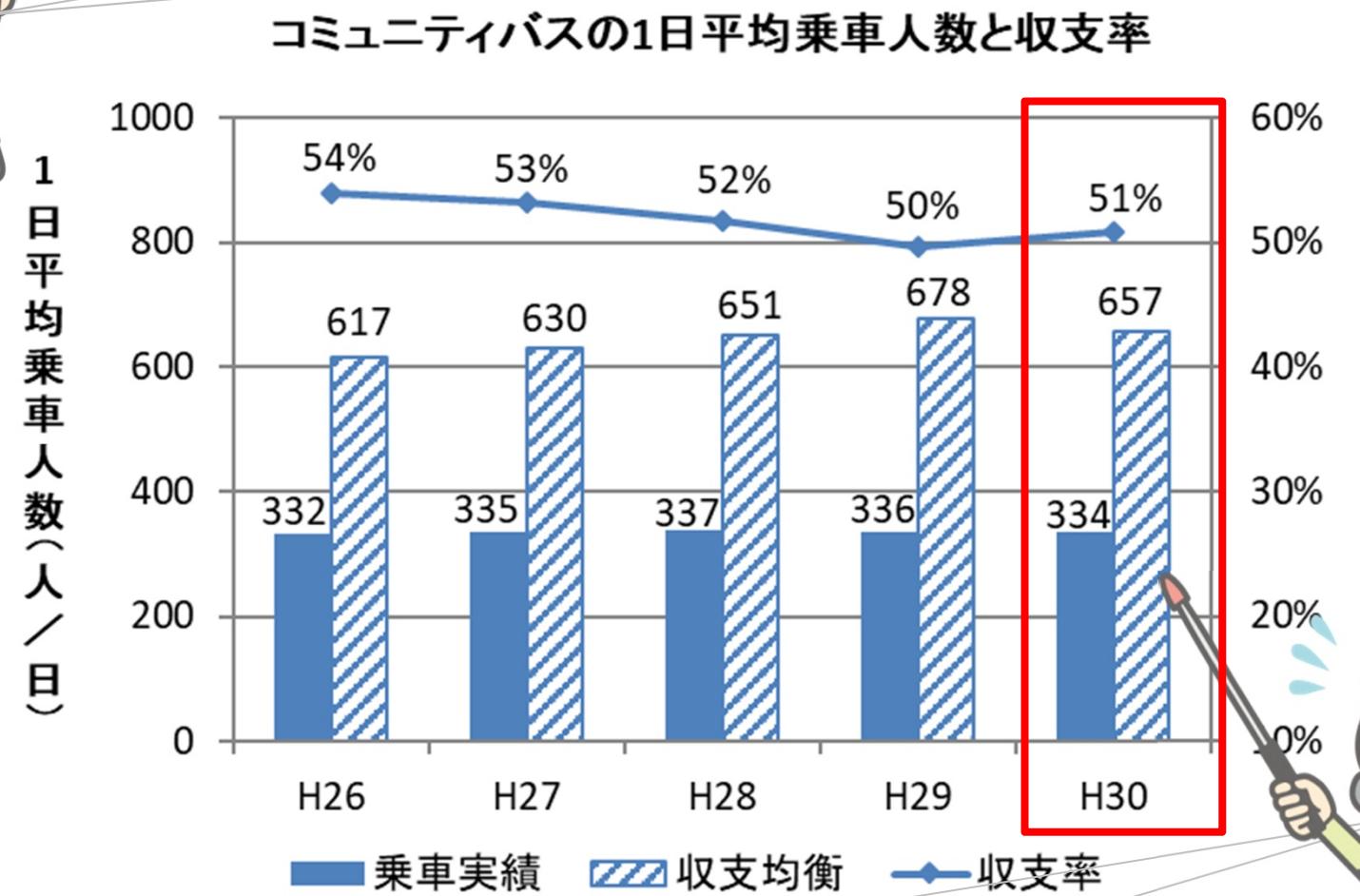
努力目標を定めて  
利用者を増やしていこう！



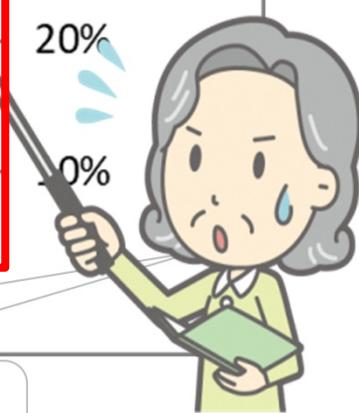
# 若葉区泉地域コミュニティバスの実情



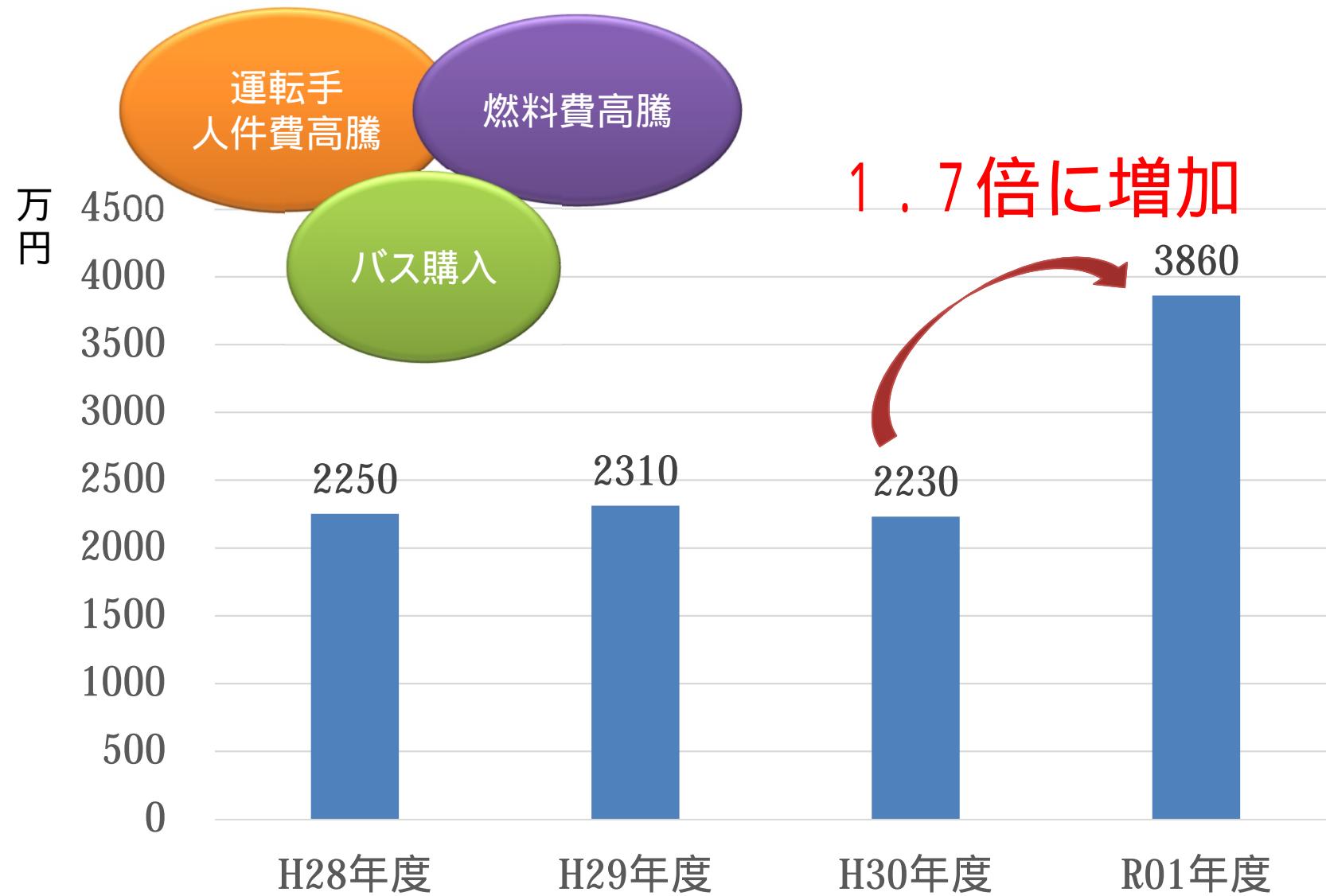
う～ん。利益をだすのが難しい。



コミュニティバス事業を健全に続けて行くためには、  
乗車人数を約2倍に増やす必要があるのね。



# コミュニティバス運行委託費



## 運行協議会での検討経緯

○令和元年5月

運行委託費の上昇により、収支改善策を維持するため、運賃値上げについて議論

- ・収支目標60%達成のため、運賃を200円から300円にする
- ・ダイヤ改定及び運賃改定については12月に延期する

【議決事項】

若葉区泉地域コミュニティバスに係る  
運賃改定について

---



# 議決事項

運賃

大人200円 → 300円

中学生以下100円

改定予定日

令和元年12月1日

# 収支目標60%の考え方

## 千葉市公共施設使用料等設定基準

### 3 受益者負担区分

#### (1)施設の公的必要性による区分

区分	施設の内容	公的必要性
①	市民が社会生活を営む上で必要な水準を提供する施設や社会的弱者等を擁護するための施設、教育を補完する施設等公共性の高い施設等  (福祉的施設等)	大 ↑ ↓ 小
②	一定の公共性のもと、特定の受益者の利便を図る施設等  (スポーツ施設、広域型・地域型便益提供施設等)	
③	民間企業と同等のサービスを提供する施設等  (収益型・準収益型施設等)	

#### (2)施設の収益可能性による区分

区分	施設の内容	収益可能性
A	収益性が全く無いか極めて低く、民間企業によるサービスの提供が困難な施設	小 ↑ ↓ 大
B	収益性が低く施設の収益だけでは管理運営費をまかなうことが困難な施設	
C	相当の収益性があり、施設の収益をもって相応の管理運営費をまかなえる施設	

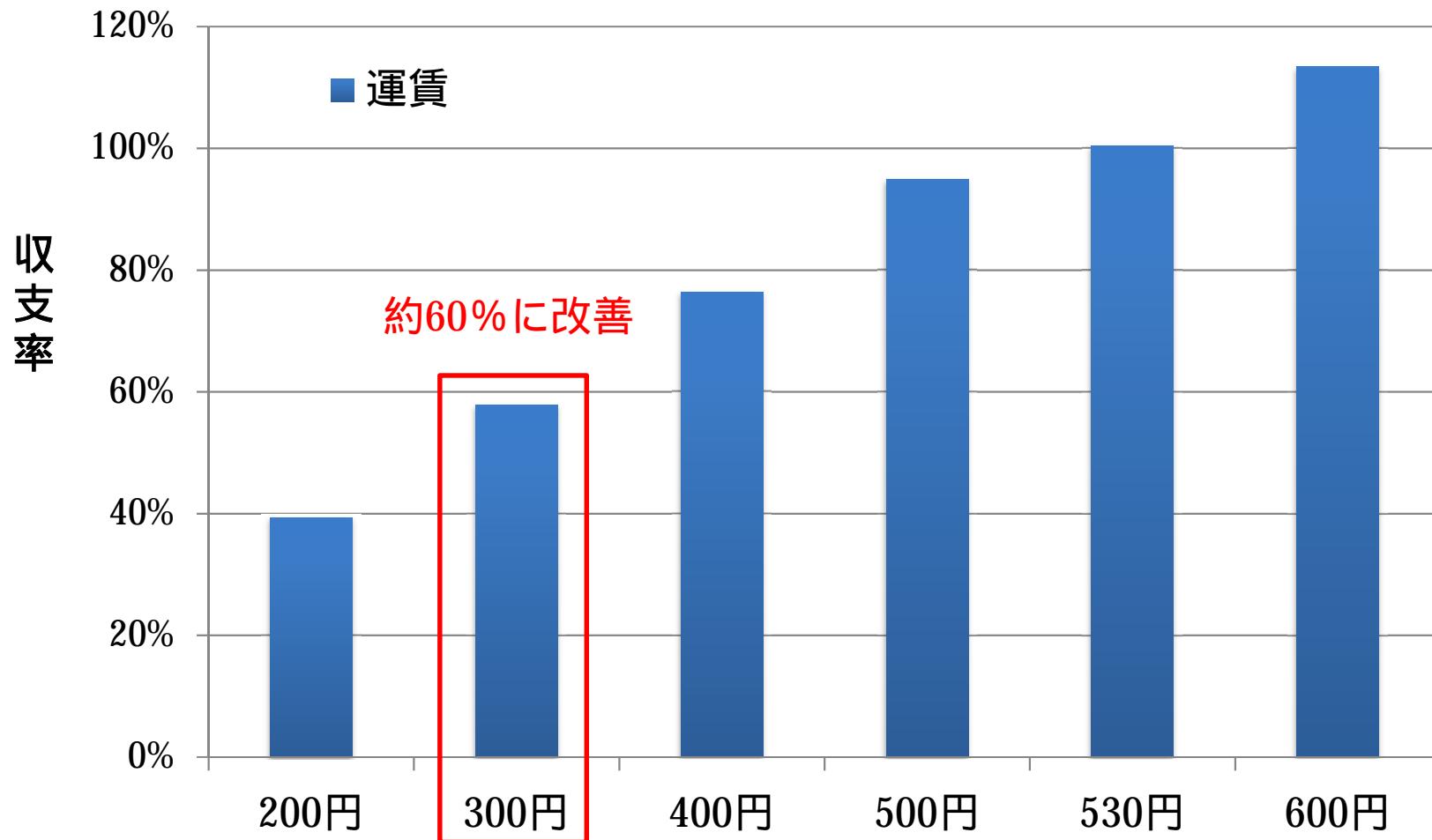
# 収支目標60%の考え方

## 行政と受益者の負担割合の設定(受益者負担割合)

大 収 益 可 能 性 小	C	行 70%	行 30%	行 0%
		受 30%	受 70%	受 100%
B	A	行 80%	行 50%	行 30%
		受 20%	受 50%	受 70%
		行 100%	行 80%	行 70%
		受 0%	受 20%	受 30%
		公的必要性		小

受益者負担割合は70%相当が妥当と判断される

## 運賃300円にした場合



運行委託費約3900万円ベースで試算

# 【報告事項】

## 若葉区泉地域コミュニティバスの 運行計画変更について

---



## 報告事項

---

### ○運行ダイヤの見直し(全路線)

- ・ルートA～D表記を、行先表示とともに右回り、左回り表記に変更

### ○運行ルートの追加(さらしなバス)

- ・下田農業ふれあい館へのバス停留所新設

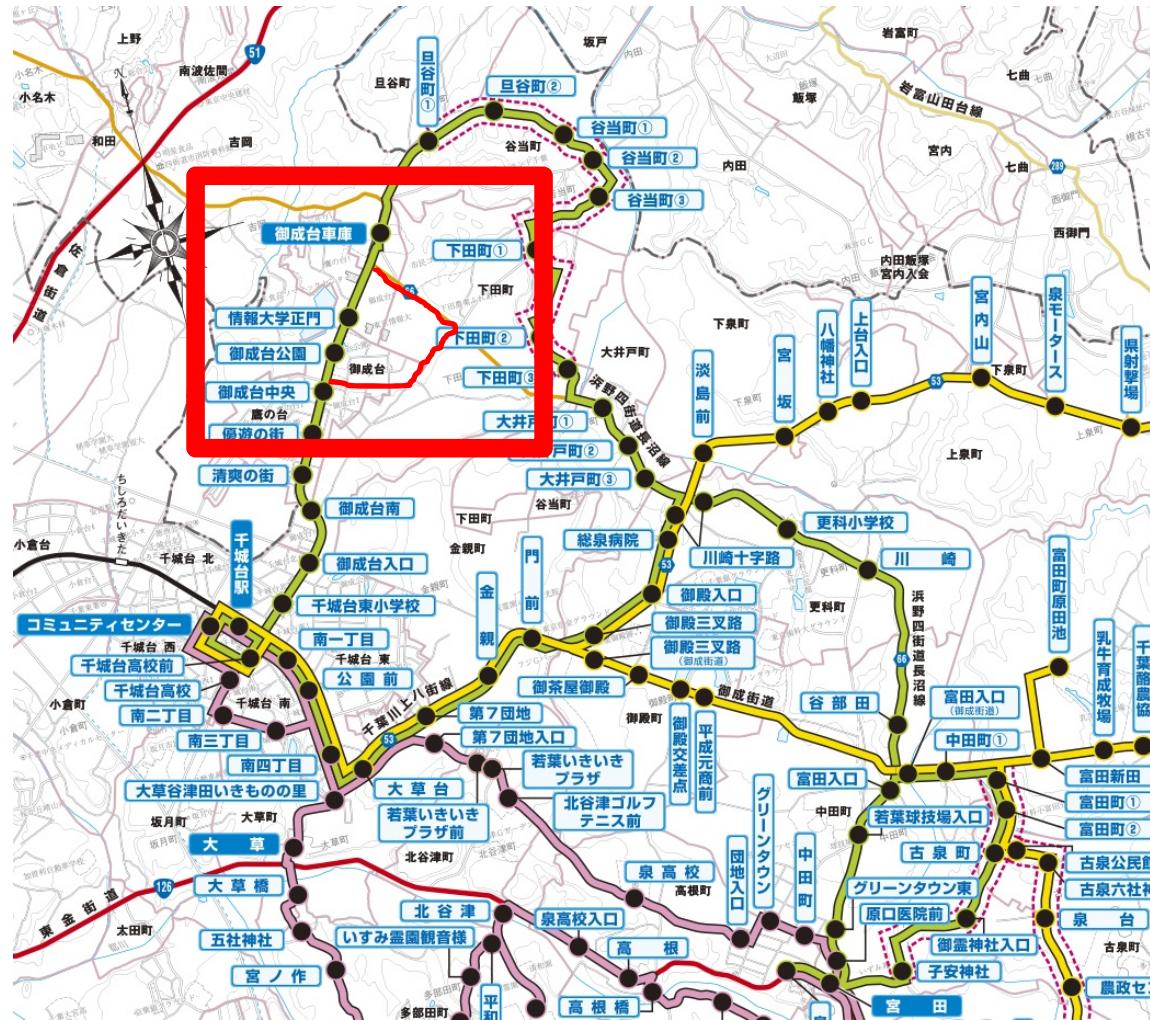
### ○変更予定日

令和元年12月1日(運賃改定と同日)

## 運行ルートの追加

# さらしなバス

## 停留所「下田農業ふれあい館」と新たな運行ルート開設



# 運行ルートの追加



# 運行ダイヤ等の見直し(別紙資料参照)

## さらしなバス

停留所「下田農業ふれあい館」等を新設  
(3,5,6,7,9便)



# 運行ダイヤ等の見直し(別紙資料参照)

# さらしなバス

現「ルートD」を「ルートC」へ変更(4,7,8便)



# 運行ダイヤの見直し(別紙資料参照)

---

おまごバス

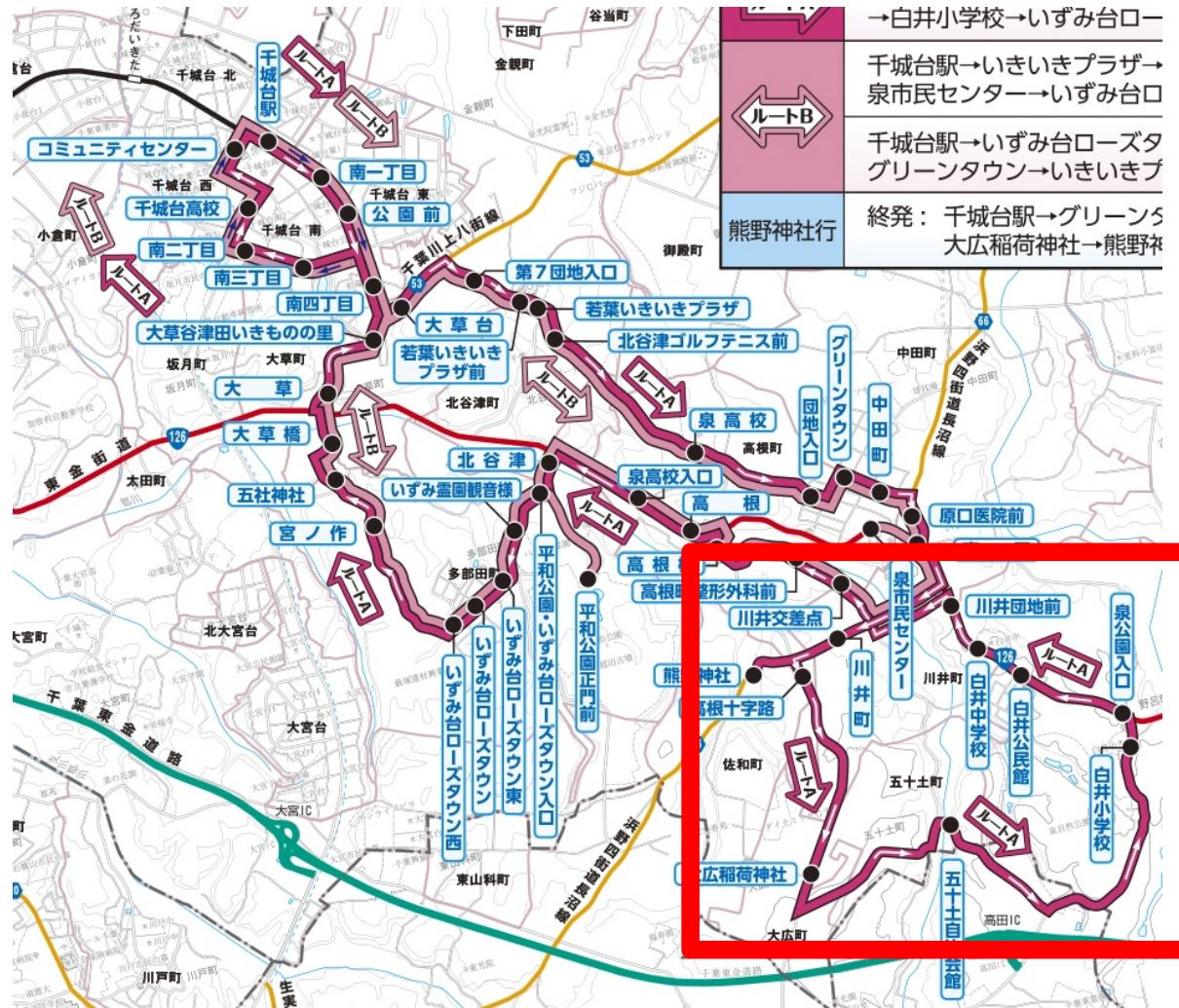
利用者が極端少ない第1便を廃止  
(1便→廃止)

利用者が少ない第17便とその前の  
第16便を統合(16,17便→16便)

「千城台駅」20:11発の最終便を追加  
(新規)

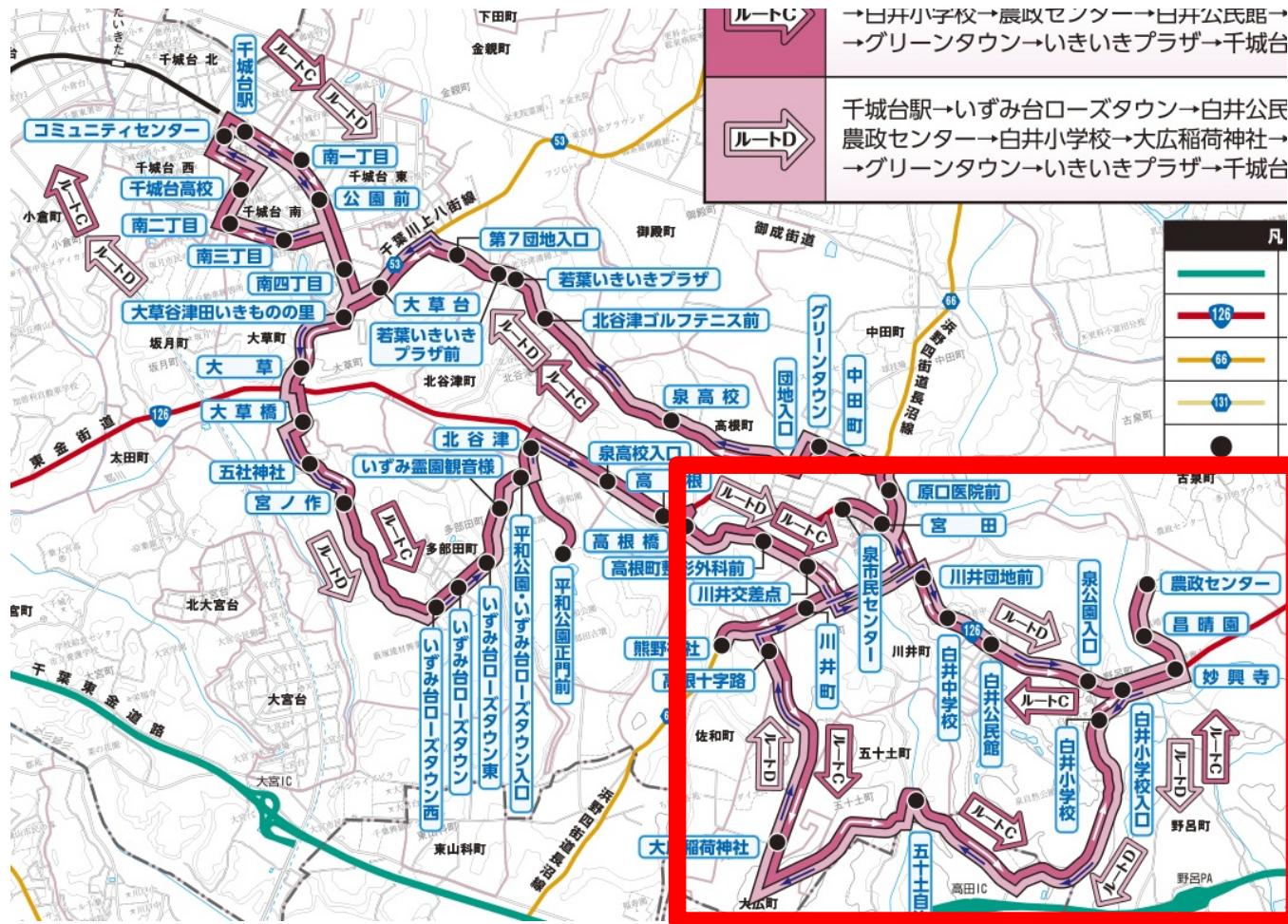
# 運行ダイヤの見直し(別紙資料参照)

## いすみバス 現「ルートA」の「川井町」～「川井団地前」の回り順を逆に (2便)



# 運行ダイヤの見直し(別紙資料参照)

## いすみバス 現「ルートD」を「ルートC」へ変更(10便)



### 3 その他

---

